



人と企業に選ばれるまちを目指す

市長戦略最前線

戦略から実動へ

▶市長戦略の
詳細はこちら



▶広報すその
オンラインは
こちら



戦略推進課 995-1804

総合計画後期基本計画の策定

まちづくりの総合的な指針

総合計画は、社会経済の環境の変化に対応し、市民の「暮らし満足」の実現に向け10年間のまちづくりの基本的な方向を示す総合的な指針です。市では、令和8年度から5年間の計画期間とする後期基本計画の策定に取り組んできました。

これまでの歩み

総合計画は行政だけで作るのではなく、多くの市民や有識者の意見を丁寧に積み上げてきました。

①現状分析と評価

有識者による外部評価委員会で、前期基本計画の振り返りと課題の整理を行いました。市民参加のワークショップや各種団体の代表や公募委員による裾野市総合計画策定協議会を重ね、まちづくりへの提案が行われました。

②幅広い世代からの意見聴取

幅広い世代からの意見を集めるため、18歳以上の市民1,200人を対象にアンケート調査を行いました。そのほか、県立裾野高校・不二聖心女子学院高校へのアンケート、中学生からの地域課題の提言、小中学校の児童

生徒が「未来の裾野市」をテーマに議会形式で提言を行う子どもミライ議会などからも意見が出されました。

③専門的知見

市民や学識経験者などで構成する審議会（4回開催）での議論を経て、11月26日(水)に答申が提出されました。

④パブリックコメント

令和7年9月24日(水)～10月23日(木)に骨子案を公開し、広く意見の募集を実施しました。

策定における5つの視点

策定では「重点施策の明確化」「市政運営の在り方を示す計画」「社会情勢の変化や地域課題、時代のニーズに対応した計画」「市民目線のわかりやすい計画」「前期基本計画の検証結果を踏まえた計画」の5つの視点を掲げました。また、後期基本計画に基づき自治体がより効果的で持続可能な運営をするため、行政運営の指針も示します。

計画は3月末に公表し、令和8年度から後期基本計画に基づき市民と共に、将来世代に誇れる持続可能なまちづくりを進めていきます。



すくすく
成長中!

裾野っ子

市内に住んでいる
3歳0カ月までの
子ども紹介!

■誕生月の2カ月前までに右記の2次元コードを読み取り、オンラインフォームから申し込んでください。



りつ
高橋 律さん
3歳0カ月
元町



あおば
西島 蒼羽さん
2歳10カ月
千福



すずか
小原 鈴叶さん
2歳10カ月
佐野荻狹



ゆう
飯塚 裕さん
2歳10カ月
二ツ屋1



あおい
関野 蒼夏さん
2歳8カ月
堰原



3月図書館だより

開館時間/火・水・土・日曜日 9時～17時/木・金曜日 9時～19時
休館日/2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・26日(木)・30日(月)

📍鈴木図書館 992-2342 📍文化センター図書室 993-9305

新刊紹介



一般書

『ハリー・ポッター』について
論文を書きたいので、教授、
授業の題材にしませんか？著者：佐藤 飛美
出版社：小鳥遊書房

現代小説を研究してみたいけど、どのようにアプローチしたら良いかわからない…。その手助けになる一冊をご紹介します。『ハリー・ポッター』を多方面から読み解いた、ファンだけではなく学生にもおすすめの内容です。



児童書

まほうつかいの
ノナばあさん<新版>作：トミー・デ・パオラ
訳：ゆあさ ふみえ
出版社：ほるぷ出版

ノナばあさんはイタリアの町に住む魔法使い。スパゲッティを次々に生み出す魔法の窯とおまじないをめくり、町じゅうを巻き込む大騒動が起こります。笑って楽しめる、ゆかいでおかしい名作絵本の復刊です。



行事予定

鈴木図書館

「私のおすすめの一冊展」

令和7年10月～11月に募集したおすすめの一冊を展示します。

📅3月1日(日)～25日(水)

親子おはなし広場

📅3日(火) 10時30分～11時

おはなしの会

📅7日(土) 11時～11時30分

ベビー&キッズタイム

📅11日(水) 9時～12時

おすすめ絵本&おてだま作りの会

おすすめ絵本2冊の貸し出しと、おてだま作りキットのプレゼント。

📅22日(日) 9時～

文化センター図書室

おはなしの会

📅14日(土) 11時～11時30分

親子おはなしの会

📅17日(火) 10時30分～10時50分

きせつの工作 ひかりの箱を作ろう

参加無料申込不要の簡単工作講座です。

📅20日(金)～25日(水)


すそのびと
Susonobito No.80
第63回全国中学校
スキー大会に出場河合 菜々子さん
御宿新田・13歳

2月3日(火)～6日(金)に長野県の野沢温泉スキー場で開催された第63回全国中学校スキー大会のアルペンに出場した河合菜々子さん。アルペン競技とは、雪山の急斜面に設置された旗の間を正確に通過しながら、そのタイムを競う競技です。「初めて滑るコースで急な斜面だったので、恐怖心がありました」と大会を振り返ります。今大会では、欠場したチームメイトの思いを胸に、最後まで滑り切る強い決意で挑みました。

河合さんがスキーを始めたのは、小学1年生のころからです。「スキーをしている兄の姿に憧れて始めました」と話しました。

週に2回市内のスキー場で練習に励むほか、岐阜県や長野県での合宿に参加して練習をしています。

「コーチから厳しい指摘を受けたときはとても悔しいです。練習を重ね、自分の限界を突破したとき一番の喜びを感じます」と河合さんは笑顔を見せます。

「今回の大会の悔しさは忘れられません。

自分の弱点の克服に本気で取り組みたいです。将来的には子どもたちにスキーを教えるなど、その魅力を伝える立場になれたらうれしいです」と今後の目標を話しました。

